

備前市事務事業評価シート

(平成21年度事業)

事業の概要			
事業開始年度		昭和6年度～	
総合計画	大項目	基本目標	01 安全で快適に暮らせるまちづくり
	中項目	基本施策	01 生活しやすいまちづくり
	小項目	施策	13 港湾・漁港
事務事業名		01	港湾管理運営事業
		根拠法令・例規等	
		担当課(室)	都市整備課
		職・氏名	管理係長・岸本豊弘
		電話	0869-64-1833
		このシート作成に要した時間	7.0 時間

事業の目的	
対象(誰・何に対して)	港湾施設利用者及び小型船舶係留施設利用者
目的(何のために)	東備港片上港及び小型船舶係留施設の港湾利用者が安全で快適に利用できる環境の整備
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	安全で快適に利用できる施設を目指す。

事業の実績			
細事業名	事業の説明	優先度	
東備港片上港区管理委託事業	県施設の港湾施設の管理委託を行う		
東備港鶴海地区小型船舶係留施設使用許可事務	県施設のプレジャーボート利用の許可を行う		
県港湾管理事業(新開・坂田港)負担金	県施設の水門管理負担金		
(社)日本港湾協会費	港湾整備・管理負担金		
港湾都市協議会分担金	〃		
県港湾漁港協会費	〃		
瀬戸内・海の道ネットワーク推進協議会費	〃		
全国海岸協会会費	〃		
港湾施設維持管理事業	港湾施設の維持管理を行う		
東備港日生港区野積場管理事業	県施設の港湾施設の管理委託を行う		
東備港日生地区小型船舶係留施設使用許可事務	県施設のプレジャーボート利用の許可を行う		
港湾統計事務	港湾の統計事務		
市管理寒河港・鴻島港管理事業	港湾の維持管理を行う		

事業費等		単位	平成19年度実績	平成20年度実績	平成21年度実績	
決算額	直接事業費		23,373	25,096	25,202	
	必要人員(人件費)	千円	0.21人	1,324	0.55人	5,816
	事業費		24,697	30,912	31,387	
	国県支出金		24308	24796	27938	
	受益者負担					
財源	千円					
繰入金						
その他( )						
一般財源			389	6,116	3,449	
受益者負担比率	%					

結果指標名		単位	平成19年度実績	平成20年度実績	平成21年度実績
結果指標	小型船舶係留施設利用件数	説明	鶴海地区小型船舶係留施設利用件数		
	結果指標量	事業	121	114	113
	対前年比	%	-	94.2%	99.1%
	活動コスト	円			
単位当たりコスト			0	0	0

事業の目的、対象、内容を考えてながら妥当性の評価を行って下さい

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい

事業の成果					
成果指標名	年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度目標値
小型船舶係留施設利用件数	目標値(A)	115	115	115	115
	実績値(B)	121	114	113	到達目標値
	達成率(B/A)	105.22%	99.13%	98.26%	115
成果指標設定の考え方・式や説明					
小型船舶係留施設利用目標件数/係留施設利用件数					

事務事業の評価		妥当性評価 <A-E>
妥当性の評価	市の関与の妥当性の評価	C
	市民ニーズ	
効率性の評価	コスト	C
	手段	
有効性の評価	目的達成度	D
	市民参画度	

留意事項  
事業の目的やその効果の値目目標を定める成果指標

進行年度(H22年度)の改革改善内容						
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
説明	鶴海地区小型船舶係留施設の利用者は、微減している。また、世界的な不況のあおりを受け、東備港明石埠頭の利用は減少している。					

総合評価		評価区分 <A-E>
東備港内の岡山県管理施設の使用許可事務については、岡山県の利用条例により備前市に委託されているが、施設修繕対応等の維持管理事務については、施設管理者である岡山県が実施することになる。港湾利用者が安全に効率よく施設利用を行えるよう県担当課と協議を行い、修繕を要請する必要がある。また、明石埠頭では、周辺住民から粉塵に関する苦情も寄せられていることから、本年度から許可条件等の一部改正を行い適切な港湾利用を図る。		C

平成23年度の方向性及び取組目標						
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
取組目標	東備港明石埠頭に関する業務及び係留施設についても、岡山県の指定管理者制度導入について検討願いたい					